

# ニシイ ペインティングニュース

Nishii Painting NEWS

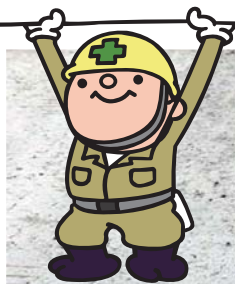
<http://www.nishii.co.jp>

株式会社 西井塗料産業

〒812-0007 福岡市博多区東比恵3丁目4番6号  
Tel 092(415)4518 Fax 092(415)4509  
E-Mail [eigyoku-bu@nishii.co.jp](mailto:eigyoku-bu@nishii.co.jp)  
お問い合わせ、カタログ・サンプル依頼等  
ございましたら、お気軽にご連絡ください。

今回はいつもの塗料・塗装関連から少し外れて、土木分野の動向と新技術(新商品)情報をご紹介します

## 土木関連



国土交通省は長さ2m以上の橋と全てのトンネルについて、5年に1回の近接目視を基本とする点検を省令で規定(昨年7月施行)、全国で2m以上の橋は約70万橋あり、トンネルは約1万本に上る。従来は熟練した技術者が点検業務を実施しているが、技術者の不足により点検業務が進まないのが現状。

NETIS登録番号: KK-140002-A

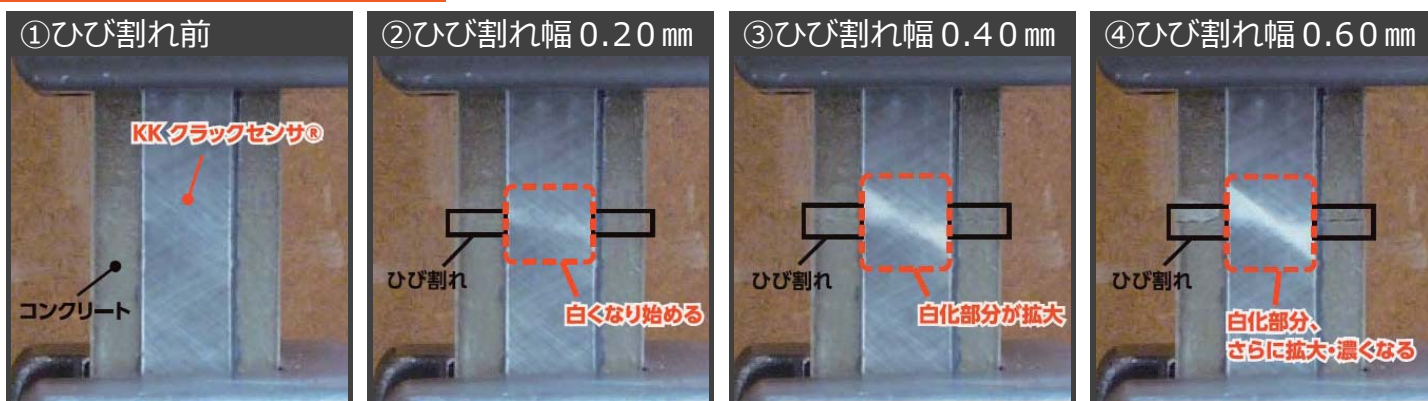
コンクリート構造物のクラック検知ツール

# KK CRACK SENSOR®

KKクラックセンサ

KKクラックセンサはひび割れに貼り付ける事で、変化状態を簡単に目視確認できます。

### 特長1 見た目わかる

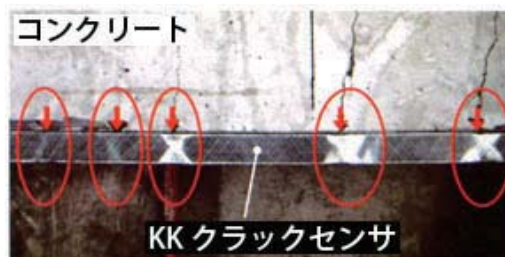


コンクリートにひび割れが発生、あるいはひび割れ幅が拡大することで引張力がかかると「KKクラックセンサ」表面に変化が現れます。表面の変化によりひび割れの実際の進行具合を目視である程度推定することができます。

### 特長2 微細なひび割れにも反応

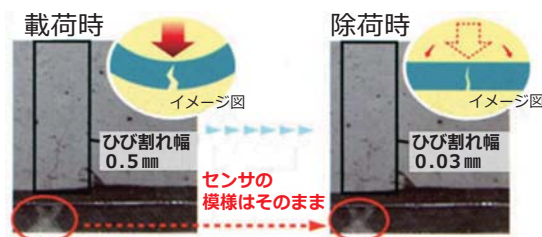
「KKクラックセンサ」は、0.15mm~0.60mmまでのひび割れ拡大幅に反応し、センサの色が白色に変化します。ひび割れ幅が大きくなるにつれ、色の面積が大きく濃くなるため、目視でも簡単に確認することができます。

※ひび割れ感度が、1mm~5mmのタイプもあります。



### 特長3 隠れクラックを見逃さない

「KKクラックセンサ」は、一度変化すると元に戻らないため、ひび割れ拡大の記録を残し、構造物への荷重変化によりひび割れが閉じた場合でも、ひび割れ幅を簡単に確認することができます。



### 特長4 特殊な測定機器・電力源不要

目視で簡単に確認することができるため、特別な測定機器や電力源などは不要です。

### 特長5 施工も簡単

施工後は日常点検を定期的を実施すれば、ひび割れ状況を一目瞭然で確認できます。

①専用プライマー塗布



②専用接着剤塗布



③センサシート貼付



④専用クリア(耐候性塗料)塗布



橋梁改修工事を中心に工事発注が増えている表面含浸材。中でもけい酸塩系表面含浸材(工法)は無色透明な材料のため、外観を変えることなくコンクリートの表層を改質できることが特徴です。施工後もコンクリート表面を目視点検ができるため、日常点検を行える利点があります。しかし、無色透明であるために施工範囲の確認や施工状況の写真管理が課題とされていました。



# RCG インナーシール α 工法

コンクリート表面保護工法(けい酸塩系表面含浸工法)

施工確認用退色性着色工法

RCGインナーシール α 工法は、退色性着色材を用いることにより、施工箇所を赤紫色に着色して容易に施工確認ができます。

日向部分の  
暴露状況



塗布直後

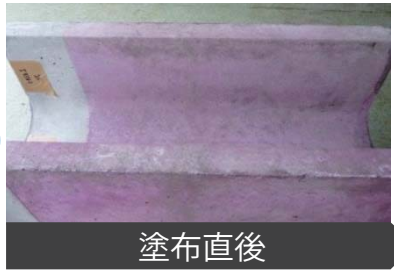


3日後



9日後

日陰部分の  
暴露状況



塗布直後



3日後



30日後

塗布作業後に数時間から数週間で退色します。※退色の時間は、日照時間や強さにより異なります。トンネルまたはボックス内部などの日光が当たらない箇所は色消しませんのでご注意ください。

## RCGインナーシール α 工法の用途

- ◇新設コンクリート構造物の耐久性向上(予防保全)
- ◇既設コンクリート構造物の劣化抑制(長寿命化)

- 橋梁・橋脚 ●ボックスカルバート ●ダム
- 貯水タンク ●用水路 ●コンクリート基礎
- トンネル ●堤防・港湾施設 ●打放し外壁等
- 護岸 ●地下ピット ●コンクリート二次製品

## RCGインナーシール α 工法の特長・効果

- 防水性向上 ●中性化抑制 ●塩害抑制 ●凍害抑制 ●工期短縮 ●意匠の変更なし
- 無公害・安全 ●施工確認機能 ●クラックの閉塞効果(0.2mm以下)

## 社名変更のお知らせ

株式会社西井塗料産業は、株式会社ニシイに変わります。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社は平成27年3月1日をもって社名を変更することになりましたのでお知らせ申し上げます。これを機に社員一同新たな決意をもって鋭意努力する所存でございます。

何卒、倍旧のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成27年2月吉日 代表取締役社長 西井一史